

リニア時代を見据えたまちづくり

1 戦略的地域づくり

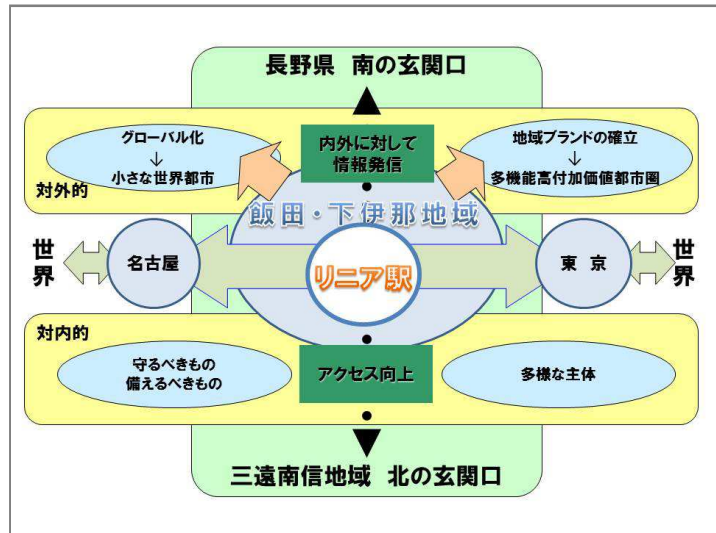
(1) リニア将来ビジョン（平成 22 年 11 月策定）

飯田市も関わる形で南信州広域連合が策定したリニア将来ビジョンにおいては、この地域を、日本のモデル的事業が展開され、世界に誇れるような都市とすべく「小さな世界都市」、「多機能高付加価値都市圏」を掲げています。

また、対内的には、地域の先人が培ってきた文化や伝統を守るとともに、自ら考える地域づくりを進めるため、「多様な主体」の活躍により「守るべきものは守りながら、備えるべきものは備え未来を切り拓いていく」ことを目指すべき都市像として掲げました。

この将来ビジョンは、策定から 3 年以上が経過していることから、策定後の社会経済状況の動向やリニア駅の計画位置などの状況を踏まえた時点修正の必要があります。

そこで、南信州広域連合において、現在このビジョンの時点修正および他要素を補強した「南信州広域連合基本構想・基本計画」の策定を進めています。



(2) リニア推進ロードマップ（平成 25 年 3 月策定）

飯田市では、リニア将来ビジョンの具現化に向けて、このビジョンの理念を第 5 次基本構想・後期基本計画に反映させ、21 世紀型の戦略的地域づくりを進めています。リニア開業までの長期間を俯瞰し、リニア効果を活かすための取組を全市的に明らかにするための工程表が必要なことから、リニア推進ロードマップを策定しました。

リニア時代を見据え先行して取り組む主な事業は次のとおりです。

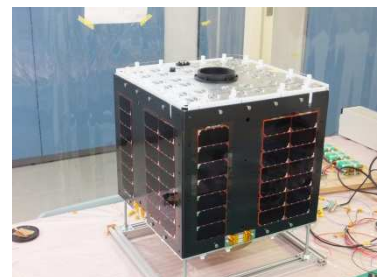
① 産業づくり

● 航空宇宙プロジェクト

全世界的にも注目を集める航空宇宙産業をテーマに、新産業の育成に取り組むため、平成 18 年にスタートしました。

プロジェクトは現在、地域の中小企業 36 社で構成されており、技術・人材の育成と、「エアロスペース飯田」（飯田航空宇宙プロジェクトの受注チーム。参加企業 10 社）による共同受注活動を展開しています。これまでに、数多くの生産に関わっており、この地域でつくられた部品は航空機などに搭載され、世界の空を飛んでいます。

また、地域内で技術が不足している金属部品の熱処理、メッキ処理および非破壊検査工程（物を壊さずに内部のキズなどを調べ出す検査技術）を備えた 2 棟の共同工場が、国や県と連携する中で、本年夏頃には完成する予定です。これにより、一貫受注体制の更なる進展とリレー生産体制が構築され、より一層の国際競



競争力強化が見込める状況となります。

リニア中央新幹線の整備と広域連携を見据え、愛知県や岐阜県が中心となって推進している「アジアNo.1 航空宇宙産業クラスター形成特区（注1）」への仲間入りをするにより、国内をはじめ海外からの企業誘致も行いながら、航空宇宙産業の集積を目指します。

注1) 研究開発から設計、製造、保守管理までの一貫体制を構築し、アジア最大・最強の航空宇宙産業クラスターの形成を目指した国際戦略総合特区

● メディカルバイオクラスター

健康長寿社会を支える地域産業を創造するため、民間企業、大学、県、市町村、関係団体などが一体となり、昨年「飯田メディカルバイオクラスター」を立ち上げ研究を行っています。「医療機器系分科会」「食品系分科会」を設置し、医療機器産業への参入や、伝統食材を活かした機能性食品の開発の研究に取り組んでいます。さらに、農業分野への展開も目指しています。



② 人づくり

● 知のネットワークの構築

当市を「学びの場」として訪れる大学研究者や学生たちが年々増加しています。これは、この地域が、大学の教育や研究活動を行う上で、とても魅力的であるというを示しています。

この地域には、「結い」や「ムトスの精神」、さらには活発な自治活動や公民館活動に代表される「学びの土壌」があり、この「学びの土壌」と大学の「専門的な知見」を融合させ、地区内外の多様な主体による協働の取り組みを推進することで、地域を担う人材の育成やより魅力ある地域づくりにつながるものと考えます。

● 学術研究都市の創造

「南信州・飯田フィールドスタディ」や「^{がくりん}学輪 I I D A」の取り組みなどを通じて、大学とのネットワークをより強くしていくとともに、地域と大学がともに学び、実践などを積み重ねることで、飯田の豊かさを享受できる学術研究都市の実現を目指していきます。

③ 地域づくり

● 地域ブランドの構築

リニア将来ビジョンに掲げる都市像の実現に向けて、「リニア未来都市ブランディング事業」を進めています。

その一環として、情報発信力、情報集積力を高めるために、昨年11月にフリーキャスターの小宮悦子さん、12月には慶應義塾大学大学院教授の岸博幸さんを迎え、「リニア未来シンポジウム&特別講演会～I I D A 2027～」を開催しました。

リニアの開業効果により飛躍的に向上する「飯田」の知名度を、地域の多様な資源を十分に活用した飯田のイメージと結びつけ、「地域ブランド」を構築します。

地域ブランドの重要性を市民の皆さんと共有し、国内のみならず世界に通用する新しい地域づくりを目指します。



(3) 各まちづくり委員会の取組 (将来構想)

地区名	構想名
	将来像や基本目標等
橋北	橋北まるごと博物館研究会の取組
	近世以降の歴史的価値のある建築物が散在する仲ノ町、二本松、馬場町一帯の面的広がりの中で測候所を捉え、今後の保存活用のあり方を研究し、散策マップを作成している。また、菱田春草生誕の地を保存活用するための様々な取組を進めている。
橋南	第2次中心市街地活性化基本計画 (2014~2018)
	中学生や地域住民の皆さんによりりんご並木の景観の保全とともに、来訪者への憩いの場を提供している。歩行者天国を地域住民等の主体と協働によりまちの賑わいを創出している。
羽場	「名水百選猿庫の泉」の保全活動の取組
	羽場曙友会生産森林組合及び猿庫の泉保存会による水源地の見守り活動、下草刈りなどの精力的な取組により保全されている。市内外からの利用者が絶えず訪れている。
丸山	地域資源を活用した地域づくり
	リニア時代を見据えた地域づくりの視点から、地域のシンボルである「風越山」をはじめとした地域資源を活用した地域づくりを進める。平成26年度中に丸山地区基本構想を策定する。
東野	桜並木の将来に向けた取組
	▼まちなかで四季を感じる「緑と桜のネットワーク」づくり▼桜を中心とした人々の「にぎわい・交流の舞台」づくり▼住む人が飯田に誇りと愛着を持てる「まちの顔」づくり
座光寺	座光寺地域基本構想・後期基本計画 (2008~2017) 文化と歴史の薫る・心豊かに暮らせる「麻績の里 座光寺」~自ら考え自ら行動する里づくり~
	【6つの里づくり】▼心通い合うふれあいの里づくり▼地域を愛し自ら行動する人が育つ里づくり▼自然・歴史・文化の誇れる里づくり▼快適で、安心・安全なやすらぎの里づくり▼地域の特性が光る活力ある産業の里づくり▼麻績の里づくりを支える基盤整備
	リニア中央新幹線を見据えた地域づくりの基本方針 (2013年8月)
	▼持続可能な農業▼住み続けたい、住みたい地域▼交流人口の拡大▼調和ある整備
松尾	松尾地区基本構想 (2002~2021) 共生、共働サステナブルコミュニティ
	▼水と緑を大切にしたいまちをつくらう▼住む人がやさしくなれる環境づくり、まちづくりのためのグランドワーク▼健康とやさしさのあふれるまち▼歴史、教育、文化活動のあり方を考え、まちづくりに生かす▼生き活きとした経済活動が持続し、経済的に安定し、暮らし続けることができる地域をめざしましょう▼松尾に住むひとりひとりが、いきいき・わくわくして生きていける地域でありたい
下久堅	下久堅地区基本構想 (2013~2017)
	▼みんなの絆で未来へつなぐ里づくり▼みんなで助け合い、安心・安全に暮らせる里づくり▼誰もが安心して暮らせる健康・福祉の里づくり▼いきいきとした人と自然の調和する里づくり▼地域に愛着と誇りがもてる心豊かな教育・文化の香る里づくり
上久堅	上久堅地区基本構想 (2009~2018) 住んでみたい 住み続けたい 元気な郷“上久堅”~10年後【三遠南信道開通】の上久堅の姿~
	三遠南信自動車道完成・国道256号線の拡幅改良の間に▼地域・環境▼農林商工・観光▼福祉・健康▼建設・安全▼文化・教育・スポーツの各分野ごとの取組を進める。

<p>龍江</p>	<p>第3次龍江21構想 (2010～2019) だれもが住みたい地域 “みんなで創る豊かで元気な 住みよい龍江”</p> <p>▼人が行き交う和みの地域づくり「憩」▼便利で豊で住みよい地域づくり「豊」 ▼健康で生き活きと暮らせる地域づくり「活」▼安全で安心して快適に暮らせる地域づくり「安」▼思いやりを持って支え合う地域づくり「絆」</p>
<p>千代</p>	<p>第3次基本構想基本計画 (2011～2020) ～豊かな緑と果てなきロマン～ —千年の里く千代・千栄を紡ぐ—</p> <p>▼安全、快適、便利そしてエコな地域づくり（生活基盤・環境）▼交流による活力で地域をつくる（産業振興）▼ふれあい、思いやり、支え合う地域づくり（福祉・健康） ▼千代の歴史と伝統のもと、風土に調和した文化を発展させよう（地域文化）▼千代地区のあり方、進め方を地域で考え実践する「地域力」を高めよう（地域連帯・自治）</p>
<p>竜丘</p>	<p>竜丘地区基本構想 (2014～2030) ロマン溢れる学びの丘 共生のまちづくり</p> <p>【7つの丘づくり】▼住民の支え合いによる丘づくり▼地域資源の保全・活用、景観形成による丘づくり▼災害予防活動と豊かな人間関係による丘づくり▼歴史文化の活用で人材育成を進める丘づくり▼地域産業の振興と地域ぐるみ支援による丘づくり▼秩序ある適正な土地利用による丘づくり▼地域力の強化による丘づくり</p>
<p>川路</p>	<p>豊かで活力ある安全安心な川路 (2012～2021) —みんなの力で実現しよう—</p> <p>▼住民共働による支え合い▼産業振興と若者定住▼安全安心・快適生活環境づくり ▼歴史文化と川路を思う心豊かな人づくり</p>
<p>三穂</p>	<p>三穂地区基本構想 (2011～2020) 自然とロマンの里 三穂 『こどもから高齢者まで 元気な声が響き渡り 活力あり 支え合い 心豊かな 人も自然も輝ける里』</p> <p>▼持続可能な地域社会の構築▼地域経済の活性化▼安全で安心して暮らせる地域づくり</p>
<p>山本</p>	<p>山本地区基本構想 (2011～2020) 美しく、心豊かに、集うさと 山本</p> <p>▼土地を活用した住みよい地域づくり▼拠点が整備された地域づくり▼自然が豊かで潤いのある地域づくり▼産業の発展する地域づくり▼思いやり支え合う地域づくり▼健康で快適な地域づくり▼安全で暮らせる地域づくり▼ひとが育つ地域づくり▼文化や歴史・スポーツに親しむ地域づくり▼地域自治の推進と交流の地域づくり</p>
<p>伊賀良</p>	<p>伊賀良地区基本構想 (2011～2020) 緑輝き、人と文化が行き交うまち 伊賀良</p> <p>▼人に自然に優しい土地利用▼誰もが安心して暮らせる地域づくり▼自然を大切に、「地の利」を活かした産業づくり▼香り高い文化の創造▼心が通い合う地域づくり</p>
<p>県</p>	<p>第3次 県地区基本構想・基本計画 (2009～2018) 豊かで 潤いのある 元気な 県 かなえあう 住みよいまち かなえたい 心安らぐまち</p> <p>▼みんなで作る元気なまち▼安全安心で活力あるまち▼ともに支え合い助け合うまち ▼自然を生かし暮らしやすいまち▼地域で学び地域で育つ文化あふれる心豊かなまち</p>
<p>上郷</p>	<p>上郷地域 基本構想・基本計画 (2014～2023) 地域で育み支え合う 個性と魅力を生かした 活力ある未来を切り開く 新たな上郷地域の創造と挑戦</p> <p>▼地域全体の結束力と住民自治の組織力向上の郷づくり▼活力に満ちた健康づくりの郷づくり▼地域で育み地域で支え合う福祉の郷づくり▼組織的な災害対応と安全安心で快適な郷づくり▼リニア時代を見据えた郷づくり▼地域を支える人づくりと文化を尊ぶ郷づくり</p>

	<p>上郷地域土地利用計画案</p> <p>リニア駅の計画位置が明らかになったことで、リニア駅周辺の土地利用や景観について地域としての一定のルールづくりが必要となることから、上郷地域基本構想と関連する土地利用計画を策定しています。</p> <p>【土地利用の方針】▼上郷地域を9つの区域（森林保全ゾーン、森林体験交流ゾーン、農業ゾーン、住宅・田園共生ゾーン、文教ゾーン、緑の保全ゾーン、商工業ゾーン、調整ゾーン、リニア駅周辺ゾーン）▼リニア駅周辺及びアクセス道路沿線の土地利用と景観への配慮についての具体策を検討します。また上郷地域の道路網構想を掲げ、整備に向けて地域一丸となって取り組みます。▼宅地化の進展と河川・排水路の未整備に加え、昨今の気候変動に伴う集中豪雨から暮らしを守るために、水害に強いまちづくりを進めます。</p>
上村	<p>新上村振興計画（2010～2019）「環境・伝統文化・人々がかがやく上村」</p> <p>豊富な森林資源、優れた自然景観を活かしながら、未来に繋げ「環境を大切にし、環境への負荷を可能な限り軽減するライフスタイル（LOHAS(ロハス))が実現できる上村」づくりを基盤に地域振興を図りながら、交流人口、定住人口の増加を目指す。</p>
南信濃	<p>南信濃地区基本構想（2010～2019）明日を拓く地域づくり構想</p> <p>▼住みたい、住み続けたい郷づくり▼快適に暮らせる郷づくり▼南信濃らしさを活かした産業の郷づくり▼安心安全に暮らせる郷づくり▼豊かな自然と共生する郷づくり▼誰もが健やかに暮らせる健康と福祉の郷づくり▼学び合い、文化を守る郷づくり</p>

リニアを見据えた都市構造の検討・飯田市

中心市街地(中心拠点)

リニア中央新幹線の開通を見据え、中心市街地(中心拠点)の魅力や求心力(中心性)をたかめることにより、そのメリットを飯田下伊那地域全体へとつないでいく。

中心市街地のめざす姿

- 交流** 様々な世代による主体的な活動と交流・連携を促す
歩いて楽しい街いと安らぎに満ちた空間の創出
- 産業** 多様なライフスタイルを可能とする
知財・ソフト・デザインなど新たな産業分野と人材の誘導
- 居住** 心豊かな暮らしを実現できる
低炭素で魅力ある都市基盤(住まい・オフィス・乗り物)づくり

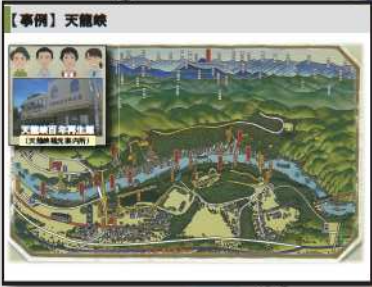
中心市街地の将来像をつくり上げていくための拠点

- ◆りんご並木 ◆並木通りと中央公園がつくり出す緑のネットワーク
- ◆飯田駅周辺 ◆橋北地区(柿ノ町周辺)の歴史的街並み
- ◆飯田駅周辺の観光・交流及び情報発信機能の整備
- ◆飯田駅を核とした地域内公共交通体系の再構築

【事例】森林公園と人形のふるさと上郷



【事例】2千年浪漫の郷・『歴史・文化ゾーン』



リニア中央新幹線に求める機能(広域交通拠点)

中央自動車道 | スマートIC等

飯田線 | リニア中央新幹線(広域交通拠点)

至 豊丘方面 | 至 品川方面

求められる基本的な視点	
乗換機能としての視点	高度なトランジットハブ(交通結節)機能 広域交通の核機能
地域らしさとしての視点	
リニア駅に求める機能	
乗換機能(シームレスな乗換)	駐車場(送迎、P & R)・在来線・高速バス・路線バス、タクシー
案内機能・情報発信機能	
休憩機能(商業施設機能)	
眺望の確保(南アルプスの眺望)	

地域らしさ